

日本の観光産業の競争力強化に 寄与する国立公園の活性化施策とは

2019.12.10 星野リゾート



3つの提言

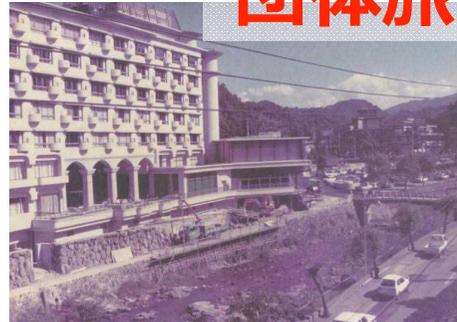
- 1、成功パターンの確立、その後に横展開
- 2、国際的に競争力ある観光地の質を満たす
官民による新たな投資が必要
- 3、短期数値目標よりも、持続可能な競争力強化

かつては団体旅行が観光業界の成長を牽引したが、
現在は目の肥えた個人旅行に主役がシフト

高度成長

バブル経済

団体旅行が牽引



ひなびた雰囲気
(1930年頃)

旅館が大型化
(1970年代)

観光客がピークに
(1980年代)



個人旅行が牽引

1990年～



Yellowstone National Park
Yosemite National Park Service

一般社団法人白川郷観光協会
清水寺

**一方で国立公園には、団体旅行時代の名残がいまだに残り
あるべき姿との差は大きい**



国立公園内に残る廃屋施設

長門湯本温泉では、温泉旅館の廃業をきっかけに官民連携で温泉街のマスタープランを作成

行政による「壊す」アプローチ



長門市が4億円で除却

民間と行政による「創る」アプローチ



行政（県と市）：周辺整備に26億円を投資
 民間：約27億（界：約24億円、恩湯：約3億）の投資

マスタープランの波及効果

2017年に20数年ぶりに新たなる店舗「Cafe&pottery音」が完成して以降、新たに7件*のSHOPなどがOPEN、また、既存旅館の改修が続く

行政の先行投資が
さらなる民間投資を
呼び込む



日経トレンドィ2020年ヒット
予測において
第30位にノミネート



*計画中含む

3つの提言

1、成功パターンの確立、その後に横展開

景観＋体験＋マーケティング ➡ 集客 という成功事例をつくる。
成功事例で得られた知見を他事例に展開する。

2、国際的に競争力ある観光地の質を満たす 官民による新たな投資が必要

観光地ごとの戦略に基づくマスタープランを作成し、実現のための投資を行う。団体旅行全盛時代のなごりがある現状を残したままでは、真の国際競争力にはならない。

3、短期数値目標よりも、持続可能な競争力強化

観光地としての国立公園の強化には、引き算の景観改善、新たな投資、体験魅力の充実、サポートする人材育成、宿泊の質向上など、長期的に取り組むべきである。